



瑞中だより

学校だより 第15号
令和6年3月18日
瑞穂町立瑞穂中学校
〒190-1211 瑞穂町石畑 1961-1
TEL 042-557-0070

感謝の言葉

校長 池谷 芳彦

光陰矢のごとし。令和5年度も残りわずかとなりました。例年よりも暖かだった2月が終わり、3年生はもうすぐ卒業です。

さて、皆さん「当たり前」の反対は何でしょう？「当たり前ではない???うーむ。」という声が聞こえてきそうですが、答えは「ありがとう」です。

「ありがとう（有り難う）」とは、「そのように有ることが難しい」という意味で、それは「当たり前ではない」ということです。今、自分が与えられている状態を「当たり前」と思ってしまくと、そのありがたみには気付きにくく「ありがとう」という言葉も出にくいものです。日常生活の中では、近い間柄であればあるほど、感謝の気持ちが湧かないことがあるようです。

たとえば子供が親に対して「食事をつくってくれたり、掃除や洗濯をしてくれたりして当たり前」「面倒を見てくれて当たり前」と思ったり、職場でも上司が部下に対して「この程度はやって当たり前だ!」などと思ったりしてしまいます。冷静に考えてみると、何事も「当たり前」のことはありません。私たち人間は決して一人きりでは生きていけません。自然の恵みはもちろん、家族をはじめ周囲の人たちや社会の恩恵を受けて日々の生活が成り立っているのです。ですから、人から何かしてもらったときには「当たり前」と思わず、素直に感謝の気持ちを伝えれば、お互いの心は温かくなり、人間関係もよりよいものになるのではないのでしょうか。

中学生くらいの年頃では、大人や社会に対する反抗心もあり、心では分かっているにもかかわらず感謝の言葉を表しにくいこともあるでしょう。自分の内心とは逆の表現をしてしまうこともあります。

ストレスがたまりやすい世の中です。イライラしたり、腹が立ったりしたときに、暴言を吐いてしまうことはないのでしょうか。感謝と謙虚の無い人は醜くなります。いつも感謝の心を抱いている人は心が安らかで、周囲の人をも明るくすることができます。たとえ小さなことでも「ありがとう」と感謝の言葉を受け取ると、自分が相手から認められていること、相手の役に立ったことを感じて、喜びや充実感につながります。

毎日を感謝の心で過ごすことができたなら、どれほど幸せな人生でしょうか。

☆瑞中生の活躍☆ (敬称略)

【西多摩巡回書写展】

3年 ○○○○ ○○○○ ○○○○

【令和5年度 西多摩中学校連合行事 技術・家庭科作品展】

3年技術「キーホルダー」 ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○

3年家庭「どうぶつお手玉」 ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○

【令和5年度 公立学校美術展覧会】

3年家庭「どうぶつお手玉」 ○○○○ ○○○○ ○○○○



フォトギャラリー 3月

3/6 (水) 1 学年 【 笑顔と学びのプロジェクト 】
 「本能寺からの脱出」というテーマで、グループで協力して難問に挑みました。



3/5 (火) ~3/8 (金) 2 学年 【 茶道教室 】



3/6 (水) 3 学年 【 がん教育 】
 福生病院から講師を招いて、講演会を行いました。



♪ 4月の主な予定♪

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 8日(月) 始業式 | 18日(木) 全国学力調査 (3) |
| 9日(火) 入学式 | 19日(金) 町学力調査 (全) 尿検査 1 次 |
| 10日(水) 新入生歓迎会 | 22日(月) 朝礼 学校公開週間始 |
| 11日(木) 給食始 身体計測 | 24日(水) セーフティ教室 |
| 12日(金) 個人写真撮影 保護者会 (全) | 25日(木) 開校記念日 歯科検診 |
| 16日(火) 前期時間割開始 | 27日(土) PTA総会 部活動保護者会 |

